

議会 だより

No. 159

長野県 原村

特集

令和5年度決算 2

9月定例会 審議から 6

各事務組合 決算 9

一般質問 10


花を、 笑顔を、 楽しみに。

—— ラベンダー再生プロジェクト
(インタビューは16ページ)



原村議会の情報は
ホームページからも
ご覧いただけます



 マチイロ

マチイロアプリからも
ご覧いただけます



令和5年度
決算

[歳入] 56億129万円

[歳出] 47億4,615万円

若者や女性に選ばれる村へ

第3回定例会は、8月30日から9月24日まで6日間の日程で開催された。

令和5年度予算が、「若者や女性に選ばれる村」につながったのか、決算審査、住民インタビューを通じて、効果を検証し、今後の予算に反映できるか注視していく。

歳入は、村税、ふるさと寄附金、企業版ふるさと寄附金などが増加した。

歳出は、公共交通の実証実験、子ども子育て支援センターの運営開始、子育て応援給付金、5月及び6月豪雨災害の早期復旧などに対応した。

令和6年度一般会計補正予算第7号の移住相談スペースの新設については、「設置は必要だが、場所については再考すべき」とし、原案から削除する修正案を提出、全会一致で可決した。

最終日には、村長提出議案21件、委員会提出議案4件、議員提出議案2件を認定及び可決し、陳情2件を採択、1件を継続審査とした。また、「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」が提出され、全会一致で可決した。

防災備蓄倉庫建設工事

7,944万円

旧保育園跡地に、災害時の拠点となる防災倉庫を建設した。円滑な物資の受け入れ、輸送を行うためのもので、災害備蓄品を一括管理し支援活動の中心となる。来年度、もみの湯前にもう1か所の防災備蓄倉庫を整備し、村内に2か所の拠点で災害に備える。



村に防災倉庫ができるとは聞いていましたが実際できたことは知りませんでした。できたことで災害を身近に感じられるようになり、地区でも受け入れ態勢をしっかりと構築しておく必要があると思います。村と地区との協力体制を整え、模擬訓練などで備蓄品の使い方や炊き出しの想定など実践し、準備態勢を整えられと安心ですね。



藤原 友輔さん
(判之木)

子ども子育て支援センター 太陽光発電設備設置工事

2,281万円

子育てサロンを週1回程度利用しています。広い場所で遊べることや、家の周囲では同じくらいのお子さんに会う機会もないので、お友達と触れ合えることが良いと感じています。子どもに合った広さや遊具も遊びやすいです。

屋根置き太陽光パネルを設置し、センターの電力自給および災害時の避難所機能を充実させた。今後センターの電力は自家発電で賄える見込み。



子育てフォローアップ事業 1,473万円

「はらっぱ」に相談員を配置し、乳幼児期から高校生世代までを網羅する相談体制を整えた。はらっぱ開設に伴い移設した子育てサロンは、開催日が増え、村内外から1日平均20人の親子が利用した。一時保育では、八ヶ岳風の子保育園でも受入れが始まり、就労以外にもリフレッシュ利用が増加するなど、子育て支援が拡充された。

原っ子広場では指導員が配置され児童を見守った（令和5年度で終了）。また、企業版ふるさと寄附金を活用し、放課後の児童の各施設への入退出が確認できるスクパスの導入（令和6年9月で終了）や、子ども食堂等の子どもの居場所づくりを行う団体を支援し、子どもたちの健やかな成長を支援した。



橘 美香さん
(上里)

公共交通推進事業

3,346万円

令和4年度から実証運行を行ったAI乗り合いオンデマンド交通「のらざあ」を村の中核となる公共交通として6月より本格導入した。新モビリティサービス事業計画の認定を国から受けた。



原村地域公共交通運行赤字補填 2,429万円

穴山・原村線、原村循環線「セロリン号」、AI乗り合いオンデマンド交通「のらざあ」の運行会社に赤字補填、国からの補助率は年々下がってきている。国では赤字を補助する方針から自治体の新しい公共交通をつくる方向に転換している。

AI乗り合いオンデマンド交通 「のらざあ」の導入 457万円

「のらざあ」を本格導入し村における公共交通を将来につないでいく取組を実施。「セロリン号」に比べ仮想停留所を約50か所増設するなど利便性の向上を図った。将来的に茅野駅まで運行サービス範囲を拡大する予定。

通学通勤支援便の見直し

192万円

「通学通勤支援便」を一本化し、車両を大型化した。朝の待ち時間を30分から10分に短縮し、運行の組み直しを行うなど通学通勤の利便性、最適化を図った。

小中学校エアコン設置工事

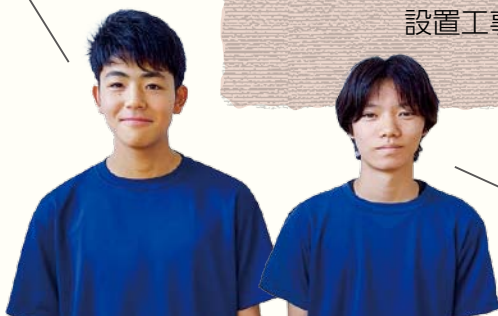
1億7,512万円

音楽室等、練習する教室にエアコンが設置されたことによって、吹奏楽部の練習も暑さに邪魔されず、集中することができました。今までの扇風機で楽譜が飛ばうようなこともなくなり、とても良かったです。

地球温暖化による気候変動の影響を受け、学校の暑さ対策も急務となり、小中学校へエアコンが設置され、子どもたちの学ぶ環境が整備された。令和5年度に工事が完了し、今年度から利用されている。

主な費用

工事管理委託費		558万円
エアコン	小学校 35台	7,953万円
設置工事費	中学校 33台	9,010万円



中野 連太郎さん
(原中学校3年生)

森山 晃雅さん
(原中学校3年生)

バルコに室外機が設置され、出られなくなり淋しく感じていました。しかし夏になってみると、授業がとても快適でした。今年は猛暑でしたが、学校は涼しかった印象です。扇風機だけの時と違い、体育の後の授業も集中してできました。

ワーケーション施設等 整備促進事業

296万円

コロナ禍の影響における企業の多様な働き方、または新しい働き方に対する取組み4件に補助金を交付した。下記のほか(株)アンドユーアンドアイ及び(株)オフィス樋口が利用し、机や椅子、ソファ、テント、焚火台などが整備された。



蔵の片付け



親子対象のワークショップ



ハケ岳
Cradle



旅人
Café

水道に不凍栓とお風呂の温度計を整備し冬季も快適に利用が可能となった。また、古いユニットバスを撤去しトイレとミニキッチンに改装することで滞在期間が長くなり満足度が向上した。

未使用だったコンテナハウスを内装しWi-Fi環境、テーブル、椅子等を整備した。テレワークオフィスや地域の集まり、ワークショップ等に貸し出ししている。

駐車場が舗装されてすごく便利になりました。子どもの靴も汚れにくくなったので、車内も汚れず助かっています。車の流れも整理されたので、以前より安心して利用しやすくなりました。

保育園駐車場 アスファルト舗装整備

1,573万円

企業版ふるさと寄附金を活用し、兼ねてから要望のあった保育園駐車場を排水対策も施したアスファルト舗装にした。



駐車スペースのラインも設け、進行を一方通行にし、利便性と安全性の向上が図られた。



清水澄枝さん・吉成さん（柏木）



空き家対策補助金

250万円

空き家の有効活用による移住定住促進と地域の活性化を図るため、村に移住・定住する50歳未満を対象に空き家の購入やリフォーム費用の一部を補助した。

空き家購入補助金（上限100万円）	2件
空き家リフォーム補助金（賃貸借物件）	上限50万円 1件



建築関係の仕事をしている事もあり、移住定住（空き家活用）担当の地域おこし協力隊に応募しました。この地域に移住したいと思っても空き家がないのが現状で、片付けセミナーなどを行いながら、資産の有効活用のきっかけ作りになれば良いと考えています。

地域おこし協力隊

3,990万円

村の公募で任用した協力隊員は任期中（1～3年）に村内で暮らしながら、自分の経験や能力を活かし、地域の課題解決や活性化に取り組む。9名の任務は ①ふるさと寄付金事業推進 ②結婚活動の企画・支援 ③美しい村づくり推進 ④移住・定住促進 ⑤滞在型観光推進 ⑥スポーツ振興 ⑦星降る里のブランド化推進 ⑧美術館の企画・情報発信 ⑨地域福祉推進活動。住民支援と地域協力を促し、村への定住・定着支援や観光の誘客などにつなげた。



星空観望会



地域おこし協力隊
小泉 肇さん



イベントで村をPR

令和6年度一般会計補正予算

議会が修正案を可決

移住相談スペース設置

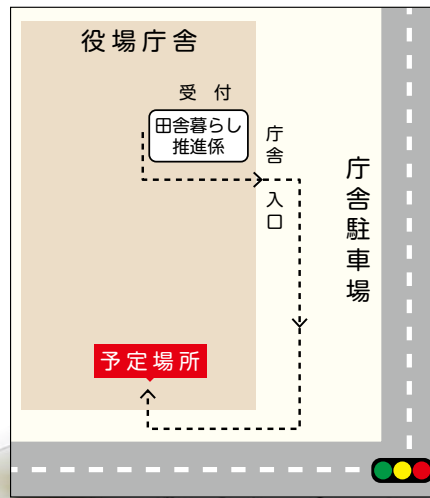
391万円・原案から削除

村の機構改編により、今まで使用していた村民ホールが無くなり移住相談スペースが確保できなくなった。近隣自治体では移住相談スペースに力を入れ、市や町をアピールできるような空間となっており、気持ちよく相談をしてもらうことで移住につなげようという考えのもと整備されている。今回は、地下にある西側B会議室を改装して使用したいとの案。本来、「のらざあ」の待合所として整備する予定だったが、少し広げ天井を高くするなどし、将来的には職員が常駐できるようなスペースを目指した。

担当の委員会で現地調査等を行ったが、動線が悪いこと、窓が少なく西日が強く入ること、バス待合所と併用するには手狭なことなどの観点から再検討を促すこととした。

- Q 相談時の受付後の動線は。
- A 担当課から建物外を通過してB会議室まで移動する。
- Q 2階の総務課西側のスペースは使えないか。
- A 総務課で使用するの難しい。
- Q ロビーを改修してはどうか。
- A 仕切りを使って区切ることによってスペースができる可能性はあるが、再検討という形となる。

〈受付後の動線案〉



修正案とは

議員(委員)は、議案審査を行う中で、原案に修正を加える必要があるとき、修正案を提出することができる。



庁舎駐車場(公有財産)購入

807万円

庁舎駐車場造成(舗装)工事

1,526万円

来庁者の利便性と会計年度任用職員増による駐車場を確保するため、民有地を購入し舗装工事を行う。

- Q** 砂利の状態と舗装にした場合の価格差は。
- A** 300万円程度。別途舗装をすると二度手間となり余分な経費が発生するため、今回アスファルト舗装まで行う。
- Q** 主として誰が駐車する予定か。
- A** 誰でも駐車できるが主として職員の駐車場として考えている。



視点

役場の駐車場が狭く職員と来庁者が混在しスペースに余裕がない。会議、申告相談時などでは特に混雑し、不便さがあった。購入予定地を駐車場とすることで来庁者も気持ちよく利用できることになる。



村道 7089 号線 道路改良舗装工事

2,300万円



村道7089号線(御柱道)、八ヶ岳中央農業実践大学校前から、180メートルの道路改良舗装工事。茅野市も同路線(市側道路)の舗装工事を行っている。

- Q** 単価、工期は。
- A** 1mあたり12万円。冬に入る前に終わる予定。
- Q** 冬期の対策はできているか。
- A** 今までの路盤は30cmであったが、今回は60cmとする。

諏訪南インター原村工業団地 排水路緊急浚渫工事 565万円



工業団地組合からの要望もあり、原村工業団地の「調整池」内に溜まった土砂を撤去し貯水能力を回復する工事。

「調整池」とは

開発により雨水など地面へのしみ込み量が減り、流れ出る水量が増え下流の川では洪水の危険が高くなる。洪水の危険を抑える目的で設置している重要な防災施設。

政策アドバイザー設置のための条例の一部改正

非常勤の特別職に「政策アドバイザー」を加える条例の一部改正。報酬44万円を支給するための予算増額補正も行った。

Q 政策アドバイザーとは。

A 専門的な知識や経験を持っている人を想定している。助言をもらい、効果的な自治体運営を行っていく。

反対討論

・(中村) このアドバイザーポスト、業者に勧められた疑念があり、提言されても実行できる保証もない。他のポストに比べ必須のものでもない。

賛成討論

・(半田) 各課の課題を聞き取り、その解決のためにアドバイスをもらう事で、職員の負担軽減も図れる事を期待して賛成。

令和5年度原村下水道事業会計 剰余金の処分及び決算の認定

令和5年度下水道会計において、受益者に申告書の送付と請求を行っていないことにより受益者負担金徴収事務が遅れが生じていた。原案可決後、住民の信頼を損なうことのないよう速やかに措置を講じるべきとする附帯決議を全会一致で可決した。

原案反対討論

・(中村) 本年度事業において受益者負担金の収益が全くなかった。これは有り得ない事で前代未聞。こんな決算は絶対に認める訳にはいかない。

原案賛成討論

・(小松) 担当課が全力で災害対応していた事は議員も知っている事実。災害対応を優先したことで住民や富士見町への影響を最小限にとどめた。

附帯決議(要旨抜粋)

1 受益者負担金の未請求及び未徴収について、徴収すべき受益者負担金を確実に徴収すること及びその他未徴収等が生じていないか確認を行うこと。

2 確実な徴収事務が行えるよう、日常業務において職員が相談・報告しやすい職場の環境づくりに努めること及び災害などの不測の事態が発生した場合に、全庁的なフォロー体制を整え、事務の執行を行うこと。

A **Q**

計上した場合の件数と金額は、年度末では、8件、2,373,510円。内2件は、徴収する段取りとなっている。二重納付や徴収漏れを避け、6年度中に処理する。

A **Q**

遅れた理由は、5月及び6月豪雨災害で、南部地域の下水道管渠破損による調査・補修及び布設替え工事を優先した。富士見町に下水道接続している地域であり、調査が必要であったことと人員の不足による事務の遅れがあり、正確な数字を計上することが困難だった。

賛否が分かれた議案等

○ 賛成、× 反対、△ 趣旨採択又は一部採択に賛成、
▽ 退席、－ 欠席、議長は可否同数時のみ裁決する。

9月定例会
審議結果



《村長提出》		審議結果	芳澤清人	半田裕	平出敏廣	森山岩光	村田俊広	小松志穂	宮坂早苗	百瀬嘉徳	佐宗利江	中村浩平
第3回定例会												
議案第42号	令和6年度原村一般会計補正予算（第7号）	修正案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	令和5年度原村下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定	○	○	○	▽	×	○	○	○	○	×
議案第47号	原村特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第48号	令和6年度原村一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×

事務組合とは

市町村単独では実施が難しいものや、共同で実施したほうが効率的な事業や施設運営を行う組織です。村に関係するものは下記の5組合があります。原村議会からも各事務組合議会の議員を選出し、また、村では運営に必要な費用を負担しています。

一部事務組合決算総額・原村負担金内訳

単位：千円

会計別	歳入総額	歳出総額	原村負担金	
諏訪広域連合（6市町村）			281,604	
一般会計	378,791	338,209	12,405	
特別会計	救護施設八ヶ岳寮	370,702	0	
	介護保険	20,760,842	123,626	
	諏訪広域連合消防	2,687,478	145,573	
	諏訪地域ふるさと振興基金事業	29,301	16,080	－
諏訪南行政事務組合（原村・茅野市・富士見町・諏訪市）			97,137	
一般会計	180,971	168,228	7,219	
特別会計	ゴミ処理特別会計	852,431	721,881	89,918
南諏衛生施設組合（原村・富士見町）			53,283	
一般会計	192,021	135,898	53,283	
諏訪中央病院組合（原村・茅野市・諏訪市）			81,234	
病院事業	11,261,774	11,033,163	72,453	
老人保健施設（やすらぎの丘）	342,938	402,031	171	
看護専門学校	124,541	136,575	8,610	
介護老人福祉施設（ふれあいの里）	436,764	451,175	－	
諏訪広域公立大学事務組合（6市町村）			89	
一般会計	2,070,632	2,067,444	89	

令和5年度各事務組合決算

9月 定例会

一般質問

一般質問とは、議員が村政全般にわたり、執行機関である村に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて疑問点をただし、報告、説明を求めることです。
9月定例会では9人の議員が登壇し、村政課題への提言や質問を行いました。色付きの項目は本誌面で取り上げています。その他(黒字)項目については会議録をご覧ください。

<p>芳澤 清人 議員 よしざわ きよと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の福祉対策 2. 村政150周年記念行事 	<p>森山 岩光 議員 もりやま いわみつ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゼロカーボン推進策 (小水力発電設置の可能性は) 2. 国民健康保険直営診療所の運営状況と、二診体制の充実強化 3. 庁内組織改編に伴う、空き事務室の活用と、JA庁内出張所 	<p>平出 敏廣 議員 ひらいで としひろ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康保険証廃止 2. マイナンバーカード・マイナンバー保険証 3. 新型コロナウイルス感染症とレプリコンワクチン「コスタイプ筋注用」 	<p>中村 浩平 議員 なかむら こうへい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住民が使いやすい公民館になっているか 2. 環境保全条例を順守させているか 3. 働いても豊かにならない社会にしていけないか 	<p>村田 俊広 議員 むらた としひろ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平和な村づくりの取り組み 2. 自衛官募集への本村の協力 3. 平和教育 4. 村の産業振興の展望 5. 行政事務の標準化 	<p>小松 志穂 議員 こまつ しほ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県の子ども医療費助成拡大で生じる財源の使い途は 2. 不登校児童・生徒支援の拡充を 3. 高校生への支援拡充を 4. 会計年度任用職員の処遇改善が必要では
<p>半田 裕 議員 はんだ ひろし</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 係長の離職をどう防ぐか 2. 職員のモチベーションの向上を 3. より適切な人材を配置できる人事異動を 4. 職員の負担軽減のための取り組みを 	<p>宮坂 早苗 議員 みやさか さなえ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 少子化対策・高校生支援の充実を 2. 子ども家庭センターの設置を 3. 農地の多様な担い手確保の取り組みを 4. 中日本高速道路(NEXCO中日本)との連携、協定後の原PA周辺の観光・直売施設新設などの考えは 	<p>佐宗 利江 議員 さそう りえ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校給食への取組 2. 観光地として景観を保つための環境整備 3. 縦の木荘多目的スペースの道の駅化 4. 農業の今後 5. 審議会・協議会等のあり方 	<p>・一般質問は、事前に質問内容を通告することになっています。 ・質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされています。 ・一問一答方式が採用されており、1項目につき2回まで再質問ができます。 ・一般質問は、HP・YouTubeで視聴できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="178 1733 285 1845"> <p>YouTube 動画配信</p> </div> <div data-bbox="178 1926 285 2036"> <p>議会会議録 検索</p> </div> </div>		

老人福祉

問 2025年問題の課題は

答 包括的な支援体制の強化

問 高齢者の一人暮らし、医療、介護、認知症の数が増加する2025年問題をどう考えるか。高齢者の人口のピークを迎えることへの措置や事業への考えは。

保と育成、介護職のイメージアップを図れるよう連携協力していく。

問 高齢者の健康状況をどのように把握し施策に反映していくのか。

保健福祉課長 重層的支援体制事業が今年度より開始している。地域の方々より高齢者の異変など情報として寄せられる体制を構築し取り残しの無い施策を充実させていく。



芳澤 清人 議員

記念行事

問 住民を巻き込んだ行事を

答 会場の配列を考えていく

企画財政課長 小学校という会場の広さもあるが総勢850人を考えている。多くの人が入れるよう会場の配列など考えていきたい。総務課長 住民基本台帳法に基づく申請で、抽出閲覧をしている。

問 村政150周年行事の記念プログラムで「アクアマリン」は村の応援大使でもあり自然などをテーマに生きるすばらしさ、命の大切さが示され歌唱力も素晴らしい。多くの住民の参加が出来ないか。

環境

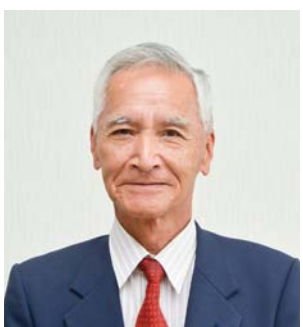
問 小水力発電設置の可能性

答 実現に向けて調査し検討

問 一般河川・農業用水路・ため池を利用した小水力発電設置により、エネルギーの自給率・地産地消・山間傾斜地の新たな収入源になると考えるが。

普及促進の追い風になると認識するが、家業や事業所などに導入の負担が生じる。村独自の支援策の考えは。

村長 各家庭や事業所等への再生可能エネルギー



森山 岩光 議員

診療所

問 診療体制と医師確保策は

答 医師2人体制を継続する

二診体制に移行して5年程が経過し定着してきた。今後の診療体制と医師の確保対策は。

村長 連携医療機関からの派遣医師に協力頂いており、派遣医師が診療に加わる事で医師の間で技術的な交流が生まれ診察能力の向上より質の高い医療の提供につながっている。二診体制維持の為に、この連携・協力は今後も継続して行く。

保険証

問 健康保険証廃止のあとは

答 資格確認書が発行される

問 本年12月2日より国民健康被保険証・後期高齢者医療被保険者証の新規発行が停止となりどうしたらよいかと心配する方達や、マイナンバーカード未取
得者、マイナンバー保険証への未登録者の方等についても、今後の対応はどうなるのか。

カードの未取得者、マイナンバーカードを得しているが保険証の利用未登録者については、被保険者証の有効期限が切れるまでに資格確認書が申請によることなく交付される。

健康保険証廃止に関わる高齢者の周知について、村として現状可能な限り実施しているが、今後も高齢者はじめ被保険者が戸惑うことのないよう周知を継続していくようにする。



平出 敏廣 議員

ワクチン

問 接種を望まない者へ対応は

答 接種強要することはしない

問 危険性を問われている自己増殖型ワクチンレプリコンを日本が世界で初めて承認して接種することになった。接種を希望しない方々に対して強制することのないよう対応を。

村長 予防接種は、個人の意志により接種を受けるか判断し、希望する方が接種するもの。希望しない方に接種を強要することはしない。また、定期予防接種B類疾病に位置づけられており、予防接種を受ける努力義務もない。

社会変化

問 働いても豊かになれない

答 村だけでは解決できない

問 国民負担率が48・4%と発表があった。国や県、村の税金や社会保険料等で所得の半分が持つていかれてしまう。執行部の認識は。

で実態調査をすること
は考えていない。

あるが。
村長 インフラ整備や福祉の向上など、生活の質を向上させ、住民が、税金が還元されていると感じられるよう取り組んで行く。

村長 国民は大きな負担を強いられているが、村の税収も限られており、本村だけでは解決できない問題。

問 若者から「日々の暮らしが精一杯で貯蓄もできない」と聞く。実態把握をする必要があるのではないか。

住民税務課長 村独自



中村 浩平 議員

騒音

問 環境保全条例の順守は

答 理解されていると思う

問 はらの一番良い所は静かな生活環境と言われている。条例には騒音は公害と規定され、住民に対して「快適な生活環境の保全」が義務付けられている。この事を周知しているか。特に集落部での騒音対策が不十分と聞くが。

村長 生活環境を乱すような行為があったときに、その都度周知している。騒音に関する苦情等があった場合には、事情を聞き、直接現地を確認しながら指導をしている。

平和宣言

問 役場敷地内で意思表示を

答 現状のまま、移設しない

問 日本中から広島・長崎をめざす平和大行進は草の根の平和活動として六六回目となった。平和な村づくりという観点で質問する。原村が「非核平和の村」宣言をした経緯は。

各地で核兵器なくせの声を強めていくことが必要だ。八つ手の交差点の看板ではめだたないし、アピールが弱い。他の自治体に倣って、役場敷地内で平和を求めて

いる姿勢を明示すべきではないか。生涯学習課長 進行方向によっては目をひかない指摘と思うが、現状破損もしておらず、移設は考えていない。

村長 原村の宣言は、昭和五九年九月に議会において議決している。現在一六七自治体が宣言している。

名簿閲覧

問 自衛官募集への協力として、適齢者の名簿の扱いは。

総務課長 住民基本台帳法に基づく申請で、抽出閲覧をしている。

問 自衛隊へ個人情報提供を勝手に提供されたとして、奈良県では高校生自身が原告となった訴訟も起きている。情報提供を希望しないものへの配慮は。

村長 住基台帳法では、提供を希望しないものの制限はかけられない。



村田 俊広 議員

問 自衛隊への名簿提供

答 所定の手続きで実施

子ども

問 子ども子育て支援拡充を

答 近隣の状況を見ながら

問 県の子ども医療費助成拡大で生じる財源を子ども子育て支援の拡充に活用する考えは。

村長 近隣自治体の状況をしながら検討する。

問 中間教室の人員増と小学校の校内中間教室の設置、関係者の連携強化やフリースクール利用家庭への支援を。

教育長 中間教室は指導員一人では大変な状況。フリースクール等のガイドラインを作成中で児童生徒の支援内容や方法を考えていく。



小松 志穂 議員

職員待遇

問 実態に応じた処遇にすべき

答 任用部署において精査する

問 高校生の支援・応援として、通学定期代の補助やのらぎあひの学割、入学時費用への支援を望む声があるが。

教育長 公平性が担保できる補助制度の財源確保は難しいが、卒業祝金または入学祝金は一つのアイデアだと認識している。

問 会計年度任用職員において、1日の勤務時間が十五分短いたけで退職金が支給されない実例がある。勤務実態に応じてフルタイム雇用に見直すべきでは。

村長 任用部署においてこういった雇用が必要かを改めて精査する。

問 令和6年度から支給が可能となった勤勉手当を支給すべきでは。

村長 令和7年6月からの支給を含め全体的な制度見直しを進める。

行 政

問 職員の離職を防ぐ取組を

答 さまざまな方法を検討

問 職員の負担軽減のために、職積極的な外部人材の活用が必要と考えるが導入の予定は。

村長 今後、各部署で必要とする業務を十分に検討し取り入れる。

問 人事を考える上で職員の希望や情報把握は必須。係長へのアンケートでは70%が課長の意見をとり入れるの人事を希望している一方、95%が課長の意見は人事に反映されていないとしている。課長と共に人事を考える仕組みを検討しては。

村長 職員人事は長の専権事項。仕組みを示すことは控えたい。

問 業務負担が多い事も離職の原因。毎年一定数の事業をやめ新規事業への余力を作るような仕組みが必要では。

村長 業務の仕分けは難しい面もあり進んでいない。今後、全庁的に仕分けをする必要があると考えている。

行 政



半田 裕 議員

問 人材育成の基本方針を

答 本年度中に改訂

問 平成10年の原村人材育成基本方針策定から時間が経過している。離職を防ぎ、モチベーションを上げるか等現状の課題に即した見直しを行うべき。

村長 ご指摘のとおり将来を見据えた見直しが必要。全職員へのアンケートも実施し、将来を見据えた人材育成ができるよう改訂する。



一般質問の説明資料はこちらから

子 ども

問 頑張る高校生応援手当を

答 施策を参考に検討する

問 中学校卒業後は、進路の違いもある。親の経済状況、住んでいる場所に関係なく、進路を選択できるように、北海道沼田町「頑張る高校生応援手当」を参考に応援策を考えては。

教育長 高校生向けに情報を分けたり、対象年齢を、18歳未満から18歳到達後の最初の年度末に変更するなどして、高校卒業までの支援を継続することを含め、見やすい形にする。

地 方 創 生



宮坂 早苗 議員

問 中日本との協定内容は

答 農産物直売・阿久活用など

問 ネクスコ中日本との連携協定の内容は。

村長 8月7日八ヶ岳西麓の3市町村とネクスコ中日本及び中日本エクスとの間で地方創生に関する連携協定を締結した。具体的な取組みは始まっているが、効果的なプロモーションとして、農産物の直売、阿久遺跡の活用などを検討。原村だけでなく八ヶ岳と言うワードも誘客の鍵になることから、広域とも連携しながら村独自の観光を進めて行く。



佐宗 利江 議員

問 審議会等の女性比率は

答 10年前と同様で22%程度

総務課長 選任の仕方はいろいろな方法があるが村として指針等は設けていない。計画に基づいて30%を念頭に置き、心がけていきたい。

問 温暖化等の異常気象により従来通りの作物の生産ができない。セロリの代替となる作物を想定しているか
また、JAでは今後の3か年計画でもメインに据えている。その場合、連携した品種改良や農業等の研究が必要では。

審議会

問 原村男女共同参画基本計画では目標30%としている。住民の半分は女性である。選任することで、今までより幅広い意見を取り入れることが出来、住民満足度は上がるはずだ。
同じ人物が色々な場面で登場する場合もあり、幅広い場面から声掛けをお願いしたい。

問 セロリの疫病に対する農薬の登録は。
農林課長 この秋には農薬登録されると認識している。来年度のセロリ育成には使用できる見込み。

問 高齢化による離農
村長 セルリーは令和4年度で栽培100周年を迎える。今後は産地の移動が考えられ、色々な作物にチャレンジしたい。

村長 村としてどのような手立てが取れるか検討し、移住促進に取り組みたい。
等、担い手不足が進んでいる。移住政策に組み込んで。

農業 問 村の農業の未来は 答 研究チャレンジを進める

地区の公民館をお借りして、意見交換会を開催します


- 柳沢公民館
10月28日(月) 19時から
- 八ッ手公民館
11月8日(金) 19時から

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

令和7年1～2月頃にテーマ別の意見交換会「みんなのひろば」を開催予定

話題にしたいテーマを募集します。

応募はこちらから▶



議会だよりモニターの皆さんとともに

— これまでにいただいたご意見 —

- 住民との意見交換会や交流などの内容掲載を。
- 議会の年間スケジュールがわかるように。
- 情報誌としての議会だよりの編集をお願いする。
- 議会だよりがきっかけとなって詳しい情報が知りたいと思ってもどこにあるかわからない。HPで検索したが見ることができない。ページの各所にQRコードを配置し、アクセスできるようにしては。

き せ て か

議員が訪ねてお話を伺いました

村のよさを玄関口で見せたい

佐宗 ラベンダー再生プロジェクトを始められたいきさつを教えてください。

角谷さん 20年前にズームラインができたとき「沿道にラベンダーを植えて通る人に楽しんでもらおう」という動きがあり、当時はすごくきれいだったようです。

多田さん しかしその後地元では高齢化が進んで手入れができず、草がボーボーになってしまっていました。

桑折さん 2019年に「村の玄関口を何とかしたい」と声がかかり、話し合いをする中で、「では何とかやりましょう」ということで、翌年にこの3人で再生プロジェクトを立ち上げました。

小松 品種も工夫されているのですか。
桑折さん 年間を通じて活動するために花が咲く時期が違う方がよいか、また見る人も長く楽しめると思い、北側はイングリッシュ系、南側はグロッシンということで始めました。

角谷さん グロッシンはラベンダーの中でも一番香りが強くて印象的です。これを使って桑折さんがステイックを作ったり、教えてくださったりもしています。

佐宗 活動をされていて思うところは。
桑折さん 車道側の草がものすごく伸びてラベンダーを隠してしまったりになっていて場所があります。交通の危険もあってメンバー全員に「取ってください」とは言えないので、村の管理できれいにしてもらえたらありがたいです。

角谷さん 原村に来られる方で「このラベンダーがすごくきれいだから毎年来ています」という方がいらっしゃいます。それをきっかけにこちらに移住を決めたというお話も聞きました。村のよさを玄関口で見せたいですね。

多田さん 何といたって花がきれいに咲いたときに嬉しいですね。
桑折さん 活動している自分たちが、香りと花の美しさに癒されています。

多田さん 何といたって花がきれいに咲いたときに嬉しいですね。
桑折さん 活動している自分たちが、香りと花の美しさに癒されています。

編集後記

秋が深まり、冷たい露がむすぶ頃になりました。能登半島豪雨災害、被災者の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

さて、今年も暑い日が続く、私たちの暮らしの中にも、「エアコンを入れた」と言う話をよく耳にするようになってきています。私たちがとりまく環境が、大きく変わってきていることを実感しています。

現在、地方分権が進み、自治体運営においても、国から委任された事務だけを行っていい時代ではありません。住民の皆さん、議会と村長、職員も変化に対応し、地域経営と言う視点でキラリと光る自治体運営に取り組む必要があります。

今後、自分がどう行動していくか、価値の判断も多様な社会です。「自分が選ぶこれからは・・・」を、みんなで一緒に考えていきませんか。

議会広報広聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 宮坂 早苗 |
| 副委員長 | 佐宗 利江 |
| 委員 | 芳澤 清人 |
| 委員 | 森山 岩光 |
| 委員 | 小松 志穂 |

議会の傍聴にお出かけください

次の定例会は

11月29日(金)

開会予定です

- ・役場2階総務課前で受付後、傍聴席にお越しください。
- ・会期中は委員会の傍聴もできます。

[問い合わせ]

議会事務局 ☎0266-79-7951

議会だよりへのご意見をお寄せください

よりよい議会だよりづくりのため、
皆様のご意見を聞かせてください。

こちらから▶



桑折さん制作のスティックやさシェ



小松 志穂 議員 佐宗 利江 議員



桑折 美智子さん



角谷 智子さん



多田 紀子さん